

賃金（報酬）単価の算出例

1. Aさんの例（月給制）

- 年間労働日数 245日 （注1） 月給制の計算においては、年間労働時間は245日、月間労働時間は21日にすべて固定して計算します。
- 月間労働日数 21日
- 基本給 250,000円（月給）
- 通勤手当 18,000円（月額）
- 家族手当 14,000円（月額）
- 住宅手当 12,000円（月額）
- 現場手当 1日 1,000円×21日 = 21,000円
- 技能手当 10,000円（月額）
- 賞与 1,500,000円（年額）

【1日当たりの賃金単価】

$$\begin{aligned} & (250,000円 + 18,000円 + 14,000円 + 12,000円 + 21,000円 + 10,000円) \div 21日 \\ & + 1,500,000円 \div 245日 \\ & = 15,476円 + 6,122円 = \underline{\underline{21,598円}} \end{aligned}$$

（注2） 所得税、住民税、社会保険、雇用保険を控除する前の額とします。

（注3） 時間外勤務手当、休日・夜間勤務手当は計算から除外します。

（注4） 賞与は過去1年間に支給した額とし、労働日1日当たりの額に換算します。

（注5） 1円未満の端数は四捨五入します。

4. Dさんの例（一人親方）

○ 月間作業日数		15 日
○ 請負金額		800,000 円
○ 経費	材料費	180,000 円
	外注工費	100,000 円
	燃料費	30,000 円
	有料道路料金	20,000 円
	通信費	3,000 円
	計	333,000 円

【1日当たりの報酬単価】

$$(800,000 \text{ 円} - 333,000 \text{ 円}) \div 15 \text{ 日} = \underline{\underline{31,133 \text{ 円}}}$$

(注1) 国税、地方税、社会保険を控除する前の額とします。

(注2) 1円未満の端数は四捨五入します。

5. 平均額の算出

$$(A \text{ さん } 21,598 \text{ 円} + B \text{ さん } 21,800 \text{ 円} + C \text{ さん } 15,900 \text{ 円}) \div 3 \text{ 人} = \underline{\underline{19,766 \text{ 円}}}$$